

NSPE magazine 2007 年10 月 13 ページ

You Be The Judge ON ETHICS

人的ネットワーク作りに関する問題 (Networking Troubleshooting)

全ての企業人は成長と成功を求めているが、人的ネットワーク作りと紹介を目的とした団体への参加は、倫理的ジレンマを生み出すのではないだろうか？

状況

PE であるSheeza Schmooser 氏は、私企業に勤務しており、現在、人的ネットワーク作りと紹介を行う世界中に多くの支部を持つ団体からアプローチを受けている。この団体は、専門あるいは業種から一人だけが各支部に属することができるが、彼にアプローチしてきた支部には、弁護士、請負業者、投資アドバイザー、保険代理人が所属している。その週次ミーティングでは、市場への参入方法についてのプレゼンが常に行われており、その中で1人の会員が自身の業務の詳細についてプレゼンを行う。最終的に、その週のうちに知り合った会員同士が紹介しあうこともある。この紹介団体は、会員からの年会費によって収入を得ているが、会員間では如何なる金銭のやり取りも無く、団体自身は如何なる紹介も行わないばかりか、メンバーがお互いに紹介しあうことも特に求めている。Schmooser 氏は、団体の役割を「会員間での自由な紹介」の援助を行うことと説明している。

あなたはどう思いますか？

Schmooser 氏が、人的ネットワーク作りと紹介を目的とした団体へ参加することに、倫理的な問題は無いだろうか？

倫理委員会の判断は？

Schmooser 氏がネットワーク作りと紹介を目的とした団体へ参加することに倫理的な問題は無いと考えられる。他の専門家団体の利用、及びそのような業務団体へ参加することの倫理的意味合いは、過去にNSPE倫理委員会の討議対象となった。そのような業務団体が利害衝突や不正発生の可能性を作り出すかどうかは、大抵、その協会の運営で実際に行われている全ての事実及び状況の審査に左右される。そこで実際に行われていることは、世界中で実施されているであろう確立したやり方に基づいていると委員会では考えている。しかしそれは、実際に行われていることが好ましいものであることを示す必要はなく、信頼性と持続可能性の程度を示しているのみである。明らかになっている事実からわかることは、如何なる関係者も他の関係者への紹介を要求されること無しに、人的ネットワーク作りと情報交換を行うことであると考えられる。加えて、支払われた会費は、支部費用と一般管理費を賄うことを意図したものであり、紹介を意図した各会員により提供されたものではない。さらに、各個人がネットワークの外で紹介を行うのは、会員がその人を選んでいるとしても、自由である。委員会は、これらの事実からNSPE の倫理規定違反があると結論を下すことはできない。

NSPE の参照条項

セクション II.4.a.:

エンジニアは、自身の判断あるいは業務の質に影響する、あるいは影響すると思われる既知のあるいは潜在的な利害衝突に関して、その全てを開示しなければならない。

セクション II.4.c.:

エンジニアは、自身が責任を持つ業務に関わる外部の業者から、直接的であろうと間接的であろうと、如何なる金銭またはその他の高価な報酬を受領するあるいは要求してはならない。

セクション II.5.b.:

エンジニアは、直接的であろうと間接的であろうと、当局による契約の決定に影響する寄付、あるいは、契約の決定に影響を与えることを意図したと当局に解釈されるような寄付を、提供する、要求するのみならず受領してはならない。エンジニアは、業務を獲得するために、如何なる贈答品、またはその他の高価な報酬を提供してはならない。エンジニアが雇用している正式な従業員、認定した正式な販売・営業代理店を除き、業務を確保する目的で委託手数料、割引、仲買手数料を支払ってはならない。

このシナリオは、NSPE 倫理委員会のケース05-9 に基づいており、無料コピーはNSPE メンバーサービス888-285-6773 から入手可能。

NSPE の倫理委員会 (BER) は、NSPE 会員を含む種々の情報源から提出された現実あるいは仮定の倫理事例を検討している。各々の事例に含まれる事実は、BER に提出され、審査された適切な事実全てを表現しているとは限らない。この倫理的判断はあくまでガイドラインとすることを目的としている。事例本文の前あるいは後にこの声明が含まれており、NSPE のBER に帰属することが適切に示されている限りは、許可無しに再録可能である。